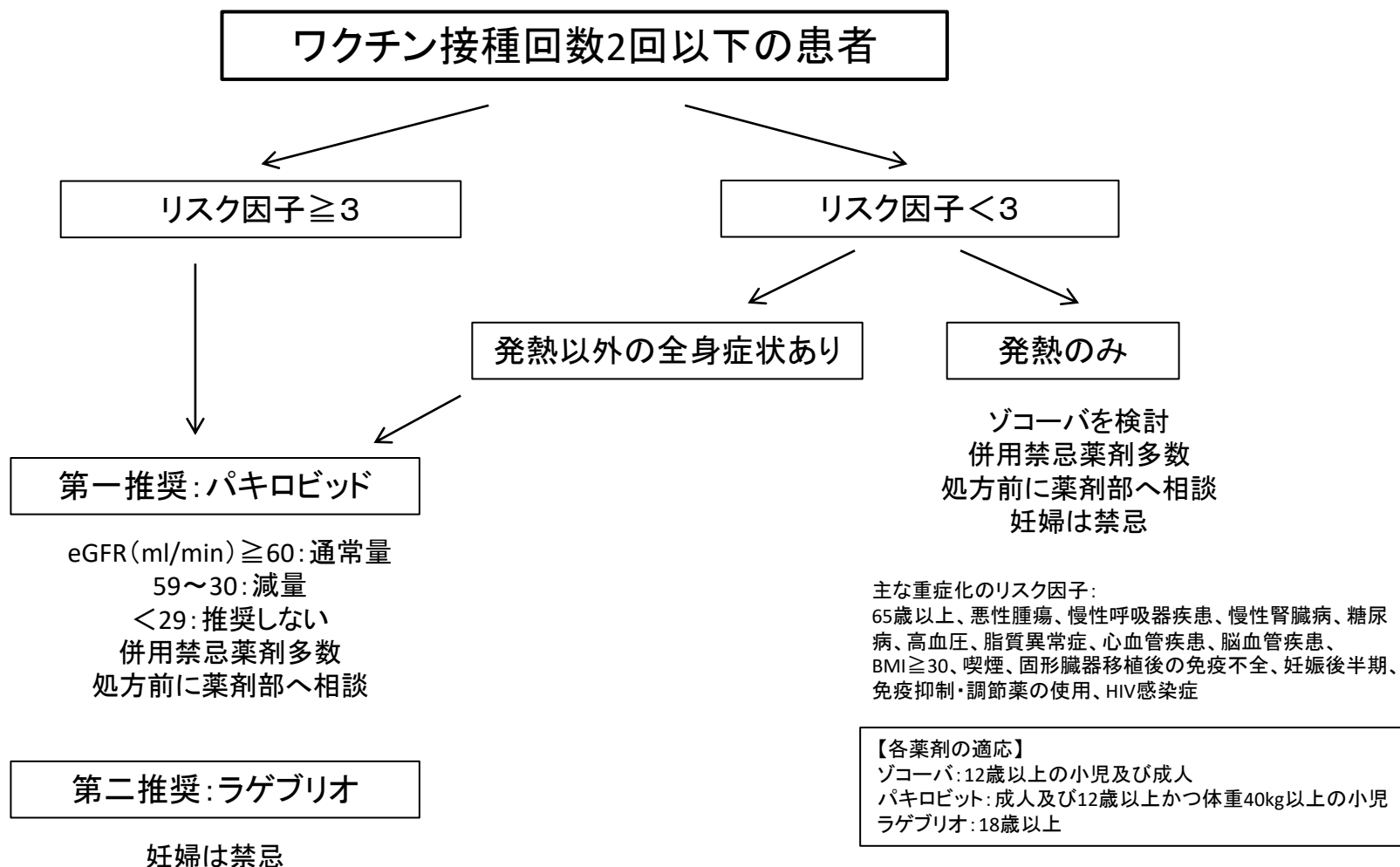


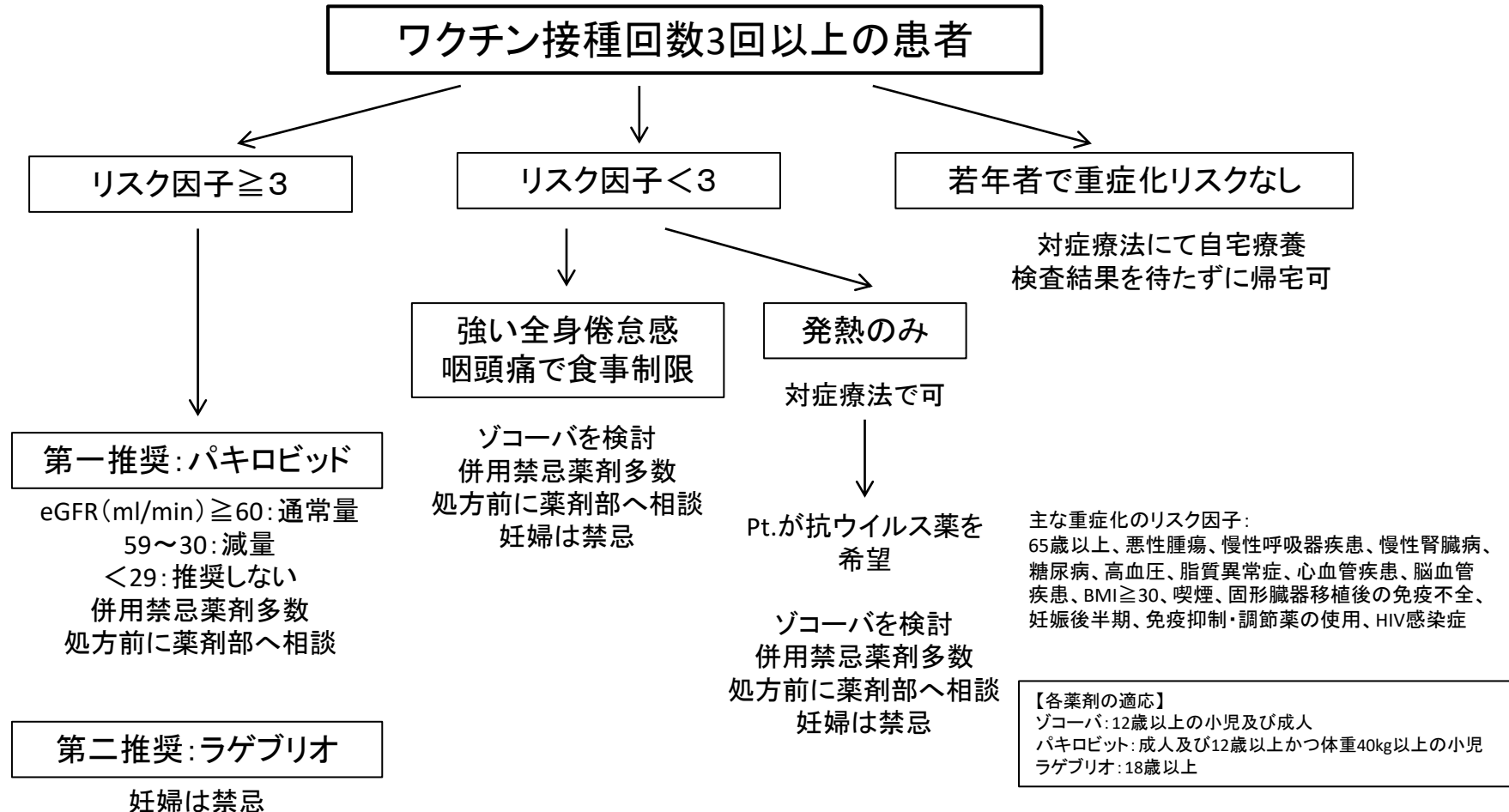
【成人】COVID-19 経口抗ウイルス薬 院内フォーミュラリー

発症5日目までの患者を対象とする ※ゾコーバは発症3日目までに投与開始



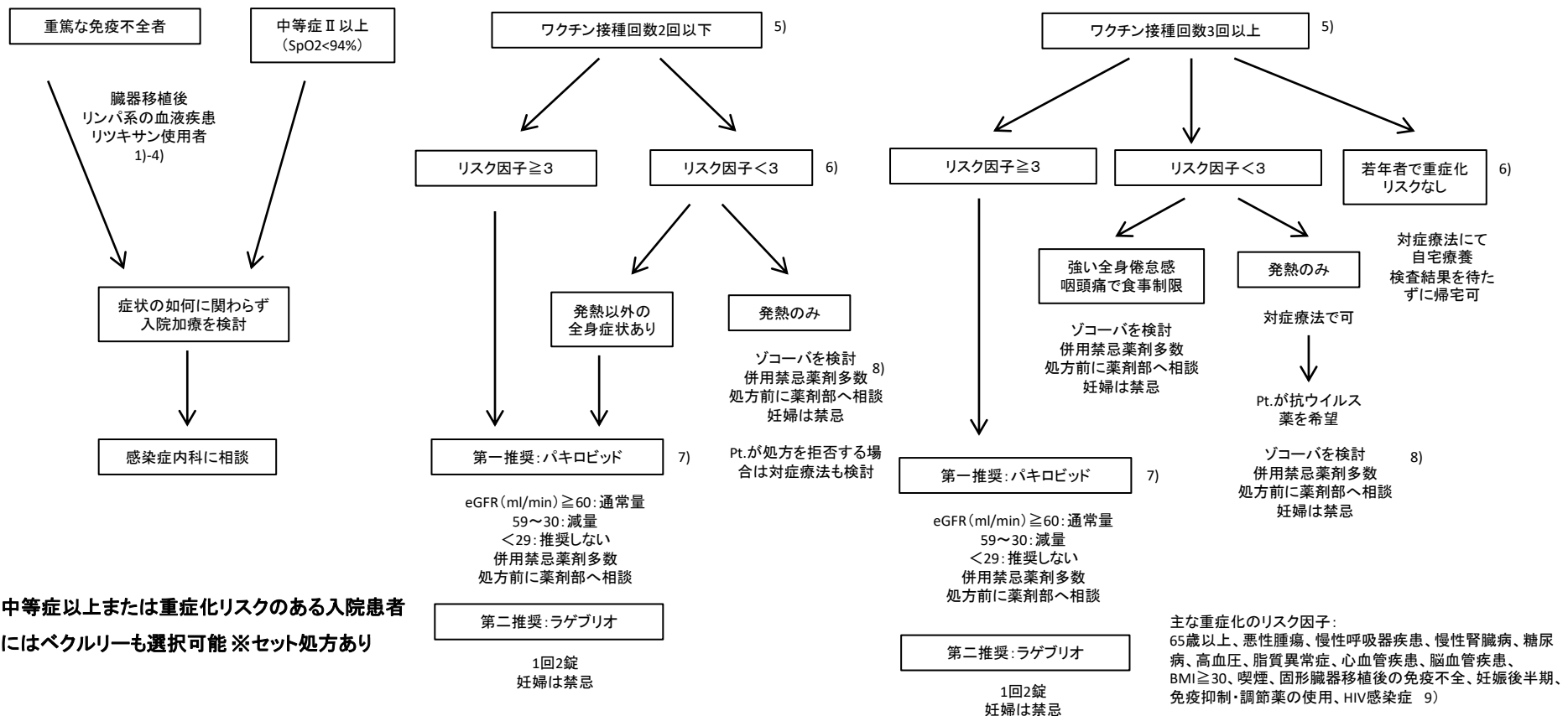
中等症以上または重症化リスクのある入院患者にはベクルリーも選択可能 ※セット処方あり

発症5日目までの患者を対象とする ※ゾコーバは発症3日目までに投与開始



中等症以上または重症化リスクのある入院患者にはベクルリーも選択可能 ※セット処方あり

発症5日目までの患者を対象とする※ゾコーバは発症3日目までに投与開始



中等症以上または重症化リスクのある入院患者
にはベクルリーも選択可能 ※セット処方あり

主な重症化のリスク因子:
65歳以上、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患、慢性腎臓病、糖尿
病、高血圧、脂質異常症、心血管疾患、脳血管疾患、
BMI≥30、喫煙、固形臓器移植後の免疫不全、妊娠後半期、
免疫抑制・調節薬の使用、HIV感染症 9)

【各薬剤の適応】
ゾコーバ: 12歳以上の小児及び成人
パキロビッド: 成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児
ラゲプリオ: 18歳以上

1) Impact of COVID-19 in solid organ transplant recipients. Am J Transplant. 2021;21:925-937

2) COVID-19 (SARS-CoV-2) in lymphoma patients: A review. World J Virol 2021 November 25; 10(6):213-325

3) Impact of rituximab on COVID-19 outcome. Annals of Hematology (2021) 100:2805-2812

4) Protracted severe COVID-19 pneumonia following rituximab treatment: caution needed. Rheumatology international (2021) 41:1839-1843

5) 福岡市コロナ会議による専門家の意見より、ワクチン接種回数≥3をカットオフ値とした。

6) 厚生労働省 第49回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和3年8月25日)資料4-3「重症化リスク因子の保有数と致死率」より、リスク因子≥3をカットオフ値にした。

7) パキロビッド(EPIC-HR)とラゲプリオ(MOVE-OUT)の臨床試験より、重症化の相対リスク減少率が高いパキロビッドを第一選択とした。

8) ゾコーバの臨床試験(T1221試験)において、omicron株流行期に共通してみられる特徴的な5症状をプラセボ群と比較して約24時間短縮させた。

9) 新型コロナウイルス感染症診療の手引き(厚生労働省)